

研究課題名；

胸部大動脈ステントグラフト内挿術の術前計画として、Synapse VINCENT を用いた大動脈大彎側計測の有用性についての研究

研究機関；奈良県立医科大学

研究責任者；吉川公彦（永富 暁）（放射線科医学教室）

研究機関；当院倫理審査委員会の承認日から 2020 年 03 月 31 日まで

研究意義；

大動脈瘤や大動脈解離に対する胸部ステントグラフト内挿術は、確立された治療法で、本邦でも広く行われています。治療前の CT から計測を行い、必要なステントグラフトのサイズを決定します。正確で有効な治療のためには、正確な計測や予測が必須となります。

大動脈の中心を通るような線(中心線)を描出し、その中心線の長さを測定する方法が一般的です。しかし、この計測では、実際に必要なステントグラフト長より短いことが経験されました。我々は、富士フイルムメディカル社との共同研究で、大動脈の大彎側(屈曲した大動脈において、カーブの外側)の長さを図る方法を開発しました。この大彎側計測では、より正確に術前計画が立てられると考えています。

実際に当院において胸部大動脈ステントグラフト内挿術を施行させて頂いた患者様を対象に、後方視的に術前 CT を二通りの方法(中心線計測・大彎側計測)で計測し、術後 CT におけるステントグラフト留置位置と比較することで、どちらが正確であったかを評価する研究を提案しました。当該研究は、奈良県立医科大学 学長の許可を得て行っております。

対象；

当院において 2009 年 1 月から 2016 年 12 月までに胸部ステントグラフト内挿術を受けられた患者様。

なお、デバイスを 2 本以上使用して治療された患者様、大動脈解離の患者様、術前後の造影 CT が撮像されていない患者様、研究参加の辞退を申し出られた患者様は除外いたします。該当されます患者様であれば、下記担当者へ連絡して頂くことで、研究計画書および研究の方法に関する資料を閲覧することが可能です。

研究が実施又は継続されることに一度同意されましても、いつでも同意を撤回することが可能であり、同意撤回に伴い患者様が不利益を受けることはございません。

収集項目；

胸部大動脈の血管中心線長、血管大彎側線長を収集いたします。

個人情報の取り扱い；

収集した情報は、名前などの患者様を特定できる個人情報を除いて匿名化致しますので、個人を特定できるような情報が、外に漏れる可能性はありません。本研究では、患者様から採取した試料は用いません。また、研究結果は学会や学術雑誌などで発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

患者様へのご負担、ご利益；

本研究は、過去に施行された治療を、後方視的に検討するのみであり、患者様に新たな検査や費用の負担はありません。また、研究の対象となる患者様に対しての謝礼もありません。

上記の研究対象に該当する患者様で、ご自身の検査結果や治療結果の本研究への使用をご承諾頂けない場合には、奈良県立医科大学 放射線科までご連絡ください。

本研究における利益相反はありません。

連絡先：奈良県立医科大学附属病院 放射線科 岩越 真一

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

電話番号：0744-29-8900